

プラスチックごみ削減に取り組みましょう！



# 「ふくおかプラごみ削減協力店」 を募集します！

福岡県内の事業者、県民、行政が一体となって、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用削減等のプラスチックごみ対策をより一層推進するため、**プラスチックごみの削減の取組みを行っている「ふくおかプラごみ削減協力店」を募集**します。

## 登録できる事業所

プラスチックごみ削減の取組みを**1つ以上実践**している福岡県内の事業所

## 登録すると…

- ・「ふくおかプラごみ削減協力店登録証」を交付
- ・**県HP**で取組内容等を紹介
- ・「ふくおか県政推進サポート資金」利用可能（中小企業対象）
- ・県競争入札の「地域貢献活動評価項目」での加点対象

## 取組例

### ワンウェイプラスチックの使用削減

- ・レジ袋の削減(スーパー等)
- ・プラスチック製ストローの提供廃止(飲食店等)
- ・環境に配慮した容器の導入(飲食店等)
- ・プラスチックハンガーの再利用(クリーニング店等)  
など

### 効果的・効率的で持続可能なリサイクルの推進

- ・食品トレー・ペットボトルの回収(スーパー等)
- ・プラスチックごみの分別・適正処理(全業種)
- ・再生プラスチックを使用した製品の製造・販売(製造業、小売店等)  
など

### バイオマスプラスチック等の代替品の適切な利用促進

- ・紙ストローへ変更(飲食店等)
- ・バイオプラスチック配合レジ袋の使用(スーパー等)
- ・プラスチック代替品の製造(製造業)
- ・生分解性プラスチックの開発・研究(製造業等)  
など

### その他の取組み

- ・従業員に対するマイバッグ・マイボトルの使用促進(全業種)
- ・プラスチックごみ削減に関する啓発(全業種)
- ・会議でのペットボトルの使用削減(全業種)  
など

## 登録申請方法

福岡県のホームページより登録申請書をダウンロードの後、必要事項を記入の上、『福岡県環境部循環型社会推進課』にご提出ください。(郵送、FAX、メール)

【県HPアドレス】<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/puragomi.html>  
(福岡県ホームページのトップページにて「プラごみ 協力店」と検索してください。)

【提出先】福岡県環境部循環型社会推進課(福岡市博多区東公園 7-7)

電話：092-643-3371 FAX：092-643-3377

メールアドレス：recycle@pref.fukuoka.lg.jp



## 実績の報告

10月の「ふくおかプラごみ削減キャンペーン」期間中の削減効果をPRするため、協力店には、**10月の取組内容やレジ袋削減枚数等の推計可能なプラスチック削減量の報告**をお願いする。

【ふくおかプラごみ削減キャンペーン】

10月を強化月間として、県民や事業者の取組みの促進及び意識醸成を図るもの。協力店には、ポスター等の掲示を依頼。

# 「ふくおかプラスチック資源循環憲章」を策定

～プラスチックごみ削減のため、できることから実践しましょう～

プラスチックは、私たちの生活に幅広く利用され、なくてはならないものとして普及しています。一方、ポイ捨てなどにより捨てられるプラスチックが、海へ流れ込み、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、地球規模で問題となっています。

福岡県では、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用削減等に向けた取組みとして、「ふくおかプラスチック資源循環ネットワーク」を令和2年7月に設立し、事業者・県民・行政が共通認識のもとに取組みを進めるために、「ふくおかプラスチック資源循環憲章」を策定しています。

事業者・県民・行政等が、プラスチックごみ対策をより一層推進していくため、憲章に記載した取組みの方向性を中心に、**できることから一つずつ実践**し、プラスチックごみ問題の解決に向けて行動しましょう。

## ふくおか資源循環憲章（抜粋）

福岡県を取り囲む豊かな海を将来に繋いでいくためには、ポイ捨て・不法投棄の撲滅はもとより、県民、事業者、自治体などの幅広い主体が、一つの旗印のもと、プラスチックごみ対策をより一層推進していく必要があります。

このため、私たちは、プラスチックごみによる環境汚染の実態の正しい理解を深めるとともに、下記の取組みを中心に、できることから一つずつ実践し、プラスチックごみ問題の解決に向けて行動します。

### 記

- ワンウェイプラスチックの使用削減
- 効果的・効率的で持続可能なリサイクルの推進
- バイオプラスチック等の代替品の適切な利用促進

## 海洋プラスチック問題

海洋に流出した海洋プラスチックごみは、生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下、景観への悪影響、船舶航行の障がい、漁業や観光への影響など、様々な問題を引き起こしています。

世界全体では、毎年約800万トンのプラスチックごみが海洋に流出し、このままでは2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えると試算している報告があります。

